

知事特命「景観形成プロジェクト」について

「くまもとの夢4カ年戦略」に掲げた美しく品格ある景観形成を進めるため、昨年5月28日に九州新幹線沿線及び阿蘇くまもと空港周辺の景観形成について検討する景観形成プロジェクトチームを設置しました。

今回、プロジェクトの主な成果等について下記のとおりご報告します。

記

1 九州新幹線沿線の田園景観形成

おもてなしの視点に立った景観の向上を図るため、沿線に広がる田園地帯において利用されていない農地等を活用し、目を楽しませる作物等を栽培する取組みを推進しました。

今後は、「新幹線沿線田園景観形成プロジェクト」として新幹線元年戦略に位置付け、取組みの拡大に努めていきます。

(参考) 現在実施中の取組み

玉名地域：新玉名駅周辺の冬季休耕地を利用した菜の花栽培(約6ha)など

宇城地域：新幹線沿線の農地でのレンゲとイタリアイグリス(牧草)の栽培(約1.4ha)

八代地域：新八代駅前の耕作放棄地を解消し、イタリアイグリス(牧草)や菜の花等を栽培(約0.8ha)

2 屋外広告物条例等の活用

九州新幹線の全線開業を平成23年3月に控え、開業前から屋外広告物の規制を行えるよう条例改正に取り組みます。(新八代駅以南の規制を基本としつつ、新たに商業地域等においても一般広告物を規制。)

また、既に景観形成や屋外広告物の規制に取り組んでいる阿蘇くまもと空港周辺については、景観指導や法令違反の屋外広告物に対する指導を強化します。

3 景観形成県民運動の展開

九州新幹線沿線の田園景観形成の取組みをはじめ、県民の幅広い参加を得て、品格ある景観形成を進めていくために、「美しく品格あるくまもとづくり県民運動(仮称)」を展開していきます。

これまで県下で行われてきた景観形成のための様々な取組みについて、さらに幅広い参加を求めていきます。

詳細については、本日(2月17日(水))午後1時30分から記者会見室(県庁本館4階)において、天野土木部次長(プロジェクトチームリーダー)から記者説明を行います。

お問い合わせ先

都市計画課景観公園室

亀田(内線6071)

鶴本(内線6075)